

俺たちガルパン芸人!

ターボ-001

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

もしア○トークでガルパン芸人をやったら・・・という妄想をダラダラ書きました。

目次

俺たちガルパン芸人！

1

俺たちガルパン芸人！

今夜のア○トークは「俺たちガルパン芸人！」戦車乙女たちと大洗に迫るガルおじ達の一時間!!

ゲラゲラ作戦はじめます!! ア○トーク!!

「はい、どうもー。」

「こんばんは〜。」

「・・・なんか戦車がいっぱいあるね。」

「かと思えばこんな可愛らしいクマの人形もありますよ。」

「なんかよくわからないから早速呼んでみましょうか。」

「今日のゲストはこの方たちです。どうぞ!!」

〜ゲスト〜

ケンドーコ○ヤシ

中田 ○彦（オリエンタル○ジオ）

川○ 明（麒○）

「皆さんは何芸人ですか？」

「俺たち！」

「「ガルパン芸人!! y e a h—!!」」

BGM 「D r e a m R i s e r」

「ガルパン芸人？」

「そうです!! 蛭○さん、俺達ガルパン芸人。もしくはガルパンおじさんです!!」

「いやいや、言われてもわからん。そもそもガルパンって何？」

「・・・蛭○さん、正気ですか？」

「うっさい!! もういいからあっちゃん教えて!!」

「ガールズ&パンツァー、略してガルパンです。」

【ガルパン Ⅱ ガールズ&パンツァー】

【ガルパンおじさん Ⅱ ガールズ&パンツァーによりなんらかの影響を受けたおじさんのこと】

「ガールズ&パンツァー？ えっ？女の子とパンツの話なの？」

「やだもー！ 蛭○さん！」

「は？」

「そんなこと言っているとIS―2で撃ち抜かれますよ!!」

「・・・もうわけわからん。」

「どうか今日はゲストの方少ないですね。」

「ああ、たぶん他の人はお腹空いて眠いから楽屋で寝てんじやないですかね？」

「アカンやろそれ！」

「それか前日来て宴会やって疲れて眠っているか。」

「もつとアカンやろ！」

「みなさくん、そろそろトークの方に。」

「じゃあ最後にこれだけ。パンツァー!!」

「「フオー!!」」

「・・・何故皆さん急にHGをやりだしたんですかね?」

「違います!!宮〇さん、ハードゲイじゃないです!!」

「どちらかというとハートフルタンクストーリーです!!」

「もうええわ!! それよりも見てみいお客さんの反応。えらい1時間になるでえ。」

ここでガールズ&パンツァー知らないゲストとして月亭 方〇を呼んで本題に入ることに。

「ガルパン知らないゲスト」

月亭 方〇

「・・・なぜ方〇さんが呼ばれたんですかね。」

「いや僕自身も全くわかりませんよ。」

「まあそれは後々わかります。多分ガルパンおじさん達はもう想像できてると思いますけど。それよりもトークテーマいきましよう。」

【ガールズ&パンツァー基本情報】

「ガールズ&パンツァー。Panzer・・・ドイツ語で『戦車』の意味です。」

「へえ。あ、だからスタジオに戦車のプラモがいっぱいあるのか。下着のパンツやないんや。」

「まあ正直に申しますとね、僕もタイトルだけ見て『どんだけ女の子がパンツ見せてくるんやろ?』って思ってたんです。けどいざはじまってみると一切パンツなし!!
パンチラも無し!!
それで女の子がいきなり戦車乗ってる!! 『なんやコレ!? 全然パンツないやんか!!』
って思ってたんです! でもハマったんです!!」

「えっ? なんでなんで?」

「まあ、まずはガルパンのあらすじをまとめたVTRを秋山殿が用意してくれたんで・・・」

「は? だれ?」

「ではVTR パンツァー」

「「フオー!!!」」

「それは絶対やるのね……。」

ガールズ&パンツァー……戦車道と呼ばれる華道や茶道と並ぶ大和撫子の嗜みとして認知されている世界が舞台のオリジナルアニメ。主人公の西住みほは戦車道の名家の娘にして全国大会九連覇を成し遂げた名門黒森峰女子学園の副隊長。しかし大会十連覇がかかった決勝戦で人命救助を優先してしまったことが原因で敗けてしまう。敗戦のショックから逃げるように戦車道のない大洗女子学園へと転校したがなんと大洗女子学園でも戦車道が復活してしまい、再び戦車道をする羽目に。戦車戦の全国大会で優勝を目指す女子高生たちの奮闘を描く、美少女×戦車の異色作品。

「ほー。」

「すごいぶつ放してたな。まんま戦争やん……」

『That's 戦車道!!!』

「はっ。」

「どうしたあっちゃん!? 急にデカイ声出して?」

『これは戦争じゃない。道を外れたら戦車が泣くでしょ?』 宮〇さん、発言には気をつけてください!!」

パチパチパチパチ

「え? 何で皆拍手してるの?」

「いいですか、宮〇さん。彼女達がしてるのは試合です。戦車道です!! 礼に始まり礼に終わる武道です!!! 試合が終わったら互いの健闘を称え合う。そんな素晴らしい武道なんですよ!!! 戦争なんかと一緒にしないでください!!!」

「近い近い!!! 喋りながら近寄ってくるな!! 顔が近いねん!!! わかった!! 悪かったから!!!」

「もう次のトークテーマ行きますよ。」

【ガルパンの魅力】

「じゃあまず川○から。」

「違います蛭○さん。『じゃあまず、かあ〜しま〜』って言うてください!!」

「・・・はあ、もう疲れたわ。」

「蛭○さん、ここは耐えて言っただけでお願いします。」

「えっ? マジで言うの?・・・『じゃあまず、かあ〜しま〜』」

「桃ちゃん言うな!!」

「言うたらんわ!! ええ加減にせえよ!!」

「無駄にええ声(笑)」

「も〜ちゃんと紹介して〜。」

「やっぱりガルパンの魅力は可愛い女の子と格好いい戦車。この二つが一緒に味わえる、一粒で二度美味しいところですかね。いわゆるミリオタの方は戦車の細かい描写に興奮したり、そうでない方もガルパンを見て戦車に興味を持ち始めたりしています。そこで今回は皆さんにもよりガルパンを知ってもらいたいので戦車と登場する女の子たちをスタッフさんに頼んでパネルにまとめてもらいました。」

「おお、それはありがたい。」

「じゃあパネル持ってきてください。」

「おつ、来た来た・・・登場人物多っ!! えっ? 待ってこんなにおんの!!」

「いやいや蛍○さん、これはあくまで主人公の学校と戦車だけですよ!! スタッフさく
ん、パネルもう一枚お願いします!!」

「うわっ!!さらに増えた!!」

「こっちは他校の女の子と戦車ですね。」

「もう、こんなに多いと覚えられんよ。」

「なんか高校名の横に国名が書いてるな・・・サンダーズ大学付属高校(アメリカ)・・・
あつ!いろんな国の人と戦うんや!!」

「何言ってるんですか? 宮○さん。一人を除いて全員日本人ですよ。」

「えーーーーっ?!?!」

「いやだつてサンダース大学付属高校（アメリカ）つて書いてあるやん!! しかも名前がケイヤん!!」

「彼女は長崎県佐世保市出身の日本人です。」

「じゃあこの聖グロリアーナ女学院（イギリス）のダーズリンは？」

「日本人です。金髪碧眼の。ちなみに出身は横浜です。」

「むちやくちややん。いや、女の子が戦車に乗ってる時点でもうむちやくちやか。」

「ちゃんと説明しますと、国名はその国をモチーフにしていて、使用する戦車も実際にその国が使っていたものが描かれていますよという意味合いで書いてます。」

「あくなるほどな。じゃあ全部日本の学校つてことであえんやな?」

「Da」

「は? なんで急に猪木さんになつたんや?」

「宮〇さん、このネタわかんないとシベリア送り25ルーブルか永久凍土で穴掘り10ルーブルになつちやいますよ。」

「辺り一面オフホワイトな景色が広がつちやいますよ。」

「やめろ!!マジでやめろ!! はい!!もう次!! あっちゃん。」

「ガルパンつて舞台が茨城県の大洗町つていう実際にある町なんですよね。作中でも風景や建物がそのままの形でいくつも出てきます。中でもファンの方に有名なのがこちらの旅館です。」

「? 普通の旅館やね。」

「この旅館がアニメではこうなります。」

「えー!!? 事故ってる!!」

「普通、自分のお店がアニメに出るとしてこんな風に描かれるのってどうですか?」

「俺、仮に自分の店だったら絶対やだ。」

「ああ、食べログ2・99のたこ焼きのお店?」

「誰が食べログ2・99のお店じゃ!!」

「そう。絶対嫌じゃないですか。でもこの旅館を含め、大洗の方々が快諾してくださったおかげでガールズ&パンツァーというアニメが出来た。大洗町、そこに住んでる方々も含めて、ガールズ&パンツァーという作品の魅力だなと思います。」

「おおくええ話やん。」

「ちなみにこの旅館、現在3ヶ月待ちです。」

「3ヶ月!!? 何で!!?」

「戦車が出っ込んだからです。戦車出っ込んだら泊まりたくなるでしょ!!」

「いやならへんならへん。」

「あとこちら、これは大洗にあるホテルなんですけど作中でこうなります。」

「また壊されてるやん!!」

「そして実際の大洗でもこうなります!」

「えー!?壁に穴あいてるやん!」

※現在この穴は修理されてありません。

「ここまで協力的な町あります? ないでしょ!!」

「ないない。」

「さらに町に行くとき各お店や旅館ごとにキャラのパネルがあります。大洗でしか買えないガルパングッズもあるんです! もうガルパンおじさんにはたまらないわけですよ!」

「どこまで協力的やねん大洗。まあでもここまでやってくれたらファンは行きたくなくなるわな。」

「えー、実は今回私ですね。ロケで大洗に行ってきたんですね。」

「えっ?コバ行ってきたの?」

「うわーコバさんいいなー。」

「じゃあ早速VTR、お客さんも一緒に。パンツァー!!」

「「「フォー!!!」」」

「お客さんも慣れてきたねー。」

